慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	A・シャトラン 労働力と第十九世紀における鉄道敷設
Sub Title	
Author	渡邊, 国広
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1954
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.47, No.8 (1954. 8) ,p.865(77)- 866(78)
JaLC DOI	10.14991/001.19540801-0078
Abstract	
Notes	書評及び紹介
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19540801-0078

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

A・シャトラン

『勞働力と第十九世紀における鐵道敷設』

フランスにおける初期の鐵道敷設をめぐる政治上、金融上、技術上の諸問題については、既に研究書が多い。しかし貧弱な機械力しか利用することが出來なかつた初期における鐵道の敷設にとつて最重要の意味を持つと思われる勞働者をめぐる諸問題については、説明したものがない。鐵道の敷設に必要な大量の勞働者がフランスにおいては何處から集つて來たのか。又鐵道の敷設に從事するため現場に集つた大量の勞働者をめぐつて起つた問題には如何なるものがあつたか。正にこれ等は解明を要する重大な問題といわなければならない。その意味において シャトラン氏の近業 Abel Chatelain "La main-d'œuvre et la construction des chemine de fer au xixe siècle" Annales Économies-Sociétés-Civilisations. Octobre-Décembre 1953, pp. 502-506. は注目すべき業績であつた。

氏は、例えばグラン・サントラルを敷設するためロワール縣のロアンヌに集つて來た勞働者の場合について、一八五五年にその數が三、〇〇〇名を越えていたとしている。ところで氏によれば、これ等の「勞働者達は、大部分がよそ者であつただけに、住民を妨碍してあらゆる種類の亂暴を働き、……そして、大膽にも自分の作物を守ろうとするる不幸な人々を、白晝公然と苦しめたりおどしたりした。かくして彼等は人々に對し深い恐怖を與え又地方官憲の微力と無氣力とは、彼等の掠奪を助勢した」のであつた。「掠奪者の多くは銃を持ち、餘暇を武力に訴えて密獵や掠奪に過していた」といわれ、鐵道建設に從事するため集つた勞働者の起した社會不安は、氏によれば、ロワール縣のロアンヌにおいて意外に深刻なものであつたのである。

とにかくこのように、鐵道の敷設に從事する勞働者によつて深刻な社會不安が惹き起されたのであつた。しかし鐵道の敷設のためには、「土工、坑夫、あらゆる種類の人足を、夥しく集めなければならない」。「この仕事は一定の體力だけを必要とし現に「苦勞に慣れた人々」が、一般の三倍も高い賃銀に誘惑され、よりよい生活を期待して故郷を離れ、鐵道の敷設に從事するため、各地から集つて來たのである。そしてこれについて氏は、「若干の地方、例えばアルサスやドイツに近い地帶、一方からいえばフランスの北部やフランドル、他方からいえばサボワやピエモンテに近い地帶が、この種の勞働者の大多數を供給していた」という。しかし一方において、多くの勞働者が鐵道の工事現場に行くため故郷を離れたことは、地方官憲に重大な衝動を與え、勞働者の移動を抑えるため、高い手數料を支拂わない限り旅券を交付しないという極端な規定が設けられた程であつた。このように、勞働者をめぐる問題は、氏によれば、それを供給する側においても、地方官憲の重大な關心事となつていのである。

とにかく鐵道を建設するためフランスの各地から勞働者が集つたが、特に第二帝政時代の末期においては、外國人勞働者の進出が目立つて著しくなつて來たことを、氏は指摘している。そしてこの一例として氏は、アレとブリウドとを結ぶ鐵道の敷設に從事した勞働者六、〇〇〇名のうち、五、六〇〇名のフランス人を除いた四〇〇名は、スペイン人、ベルギー人、イタリー人であつた事實を擧げるのである。ところで、これ等の外國人勞働者達は、フランス人勞働者よりも低い賃銀をもつて鐵道の敷設に從事しようとしたため、フランス人勞働者はこれに反對して團結し、各地に外國人勞働者を排斥する激しい運動が起つたのであつた。そして、鐵道の敷設に從事する勞働者によつて惹き起された社會不安は、この外國人勞働者の採用において頂點に達したと氏は考えるのである。

（渡邊　國廣）

經濟學關係文獻目錄

（昭和二十八年四月・五月）

理論・學說史・經濟思想

＊社會科學基礎講座　5　宮川實、柳田謙十郎編　B6一五五頁　一〇〇圓　青木書店
＊ピグウ厚生經濟學　2　永田清監修　A5四二二頁　六五〇圓　東洋經濟新報社
＊資本論論攷（青木文庫）　レオンチェフ著　宇高基輔、土屋保男譯　A6二四九頁　一〇〇圓　青木書店
＊經濟學史　下（青木文庫）　ローゼンベルグ著　廣島定吉他譯、A6一五五頁　一二〇圓　青木書店
＊日本經濟の構造分析　中山伊知郎編　A5二三八頁　上五〇圓　下二三八頁　四〇〇圓　東洋經濟新報社
＊經濟學、その生成と發展　石原忠男著　A5四三〇頁　五二〇圓　三和書房
＊サムエルソン經濟學講義　上　川田壽著　A5二八二頁　三八〇圓　三和書房
＊日本經濟と國民所得　經濟審議廳調査部國民所得課編　A5三九二頁　五五〇圓　學陽書房
＊古典經濟學批判史　リカアドオからマルクスへ　玉野井芳郎著　A6二八六頁　四五〇圓　新評論社
＊純粹經濟學要論　下（岩波文庫）　ワルラス著　手塚壽郎譯　A6三四六頁　一二〇圓　岩波書店

財政・金融・保險・證券

經濟學關係文獻目錄

＊昭和財政史　14　地方財政　大藏省昭和財政史編集室編　A5五〇九頁　一二〇〇圓　東洋經濟新報社
＊財政の基礎的理論　大淵利男著　A5四七〇頁　六五〇圓　三和書房
＊財政學入門　新訂　汐見三郎著　B6二一四頁　二〇〇圓　廣文社
＊國際金融講義　下　堀江薰雄著　A5九九頁　一三〇圓　東大出版會

商工業・經營・會計

＊公企業研究の世界的動向　竹中龍雄著　A5三五二頁　四八〇圓　森山書店
＊公經營管理　古野都美著　A5四二三頁　五五〇圓　技報堂
＊豫算統制制度（新經營學選書）　和田木松太郎著　B6一九七頁　三〇〇圓　泉文堂
＊經營政策　最高經營政策論　山城章著　A6四三五頁　五五〇圓　白桃書房
＊企業の經營と原價計算　經營と會計（下）　黑澤清著　A5四四二頁　六〇〇圓　同文館
＊商業の歷史（文庫クセジュ）　ルフラン著　町田實譯　B6小一四三頁　一二〇圓　白水社
＊會計學總論　田島四郎監修　B40二〇六頁　一〇〇圓　評論社